



川上 和人 Kawakami Kazuto
野生動物研究領域

2013年、小笠原諸島西之島の近くで海底火山が噴火しました。溶岩は西之島を覆いつくし、そこに生物のいない新たな島が誕生しました。

海に孤立した島にどのようにして生態系ができるのか、それは島の生物学の主要なテーマです。私はそのプロセスを解明するため、環境省の調査隊の一員として研究を始めました。

陸島には食物となる昆虫が、昆虫には食物となる植物が、そして植物には窒素などの養分が必要です。このため、空中の窒素を大地に取り込む地衣類が最初に定着する、それが一般的に予想されてきた過程です。しかし西之島は違いました。なんと最初に定着したのは鳥だったのです。

それは海鳥でした。海鳥の食物は魚なので陸の生物に依存しません。このため不毛の大地でも営巣を始められたのです。海鳥を調べると、その死体を食べる昆虫も見つかりました。また、海鳥の排

■ 西之島の生態系は、ぜんぶ海鳥のおかげ ■

排泄物には植物の栄養となる窒素やリン酸が多く含まれるので、いずれ種子が運ばれてくれば植物も生育できます。この島では予想とは逆に地衣類や植物に先駆けて鳥や昆虫が定着したのです。それは陸上生態系に依存しないという海鳥の特殊な性質のおかげといえます。

島が森に覆われるには数百年か数千年が必要でしょう。世代を超えた観測プロジェクトはまだ始まったばかりです。

(2022年11月11日開催講座より)



カツオドリの巣。巣材不足のため漂着ゴミを利用している。



2022年の西之島。巨大な火口が目立ち、島全体が厚い火山灰に覆われている。

令和6年度 森林講座のお知らせ

6月12日(水曜日)

「カンボジアの森林減少最前線での人々の暮らし」

江原 誠(生物多様性・気候変動研究拠点)

7月11日(木曜日)

「木材と心理—木質空間の快適性を考える—」

本山 友衣(構造利用研究領域)

8月22日(木曜日)

「気候変動と森の病気」

升屋 勇人(きのこ・森林微生物研究領域)

9月13日(金曜日)

「野山の楽しみ：多彩なアクティビティの特徴と課題」

松浦 俊也(東北支所)

10月25日(金曜日)

「夢の技術『ゲノム編集』—樹木における現状とその利用—」

谷口 亨(森林バイオ研究センター長)

11月7日(木曜日)

「ウッドショックが残したもの

～爪痕と教訓、変化の兆し～」

嶋瀬 拓也(北海道支所)

12月12日(木曜日)

「日本における林野火災の特徴と予防のための注意点」

玉井 幸治(研究ディレクター)

1月17日(金曜日)

「無花粉スギの苗を大量に増やすには？」

鶴田 燃海(樹木分子遺伝研究領域)

2月13日(木曜日)

「ヤナギを育ててカーボンニュートラルを目指す」

原山 尚徳(植物生態研究領域)

会場●多摩森林科学園 森の科学館

時間●13時15分～15時

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ

〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81

多摩森林科学園

電話番号:042-661-1121



▲森林講座申込み

HP : <https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html>

E-mail : shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp